地域交流

中学生ブリッジコンテスト/（一社）山口県建設業協会
第13回長府企業フェスタ/下関支部

建設業の魅力を地域に発信！ イベント参加

左：ザ・モール周南で初開催
下：重量コンテストの様子

■それぞれの想いが形になる！「中学生ブリッジコンテスト」開催!!

8月21、22日、下松市の「ザ・モール周南」において、「中学生ブリッジコンテスト2015」を開催しました。（山口県立徳山商工高等学校主催、（一社）中国建設弘済会共催、（一社）山口県建設業協会、山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会、周南市教育委員会、下松市教育委員会後援）

このコンテストは、県内の中学生に建築の花形ともいえる「橋」を製作する過程で、ものづくりの楽しさを体験してもらい、建設業や土木・建築系専攻科のある実業高校に関心をもってもらうことを目的に実施しているものです。5回目となる今回は、会場を徳山駅ビルから「ザ・モール周南」に移して開催。会場は徳山商工生徒のデザインした看板等で飾り付けされ、国交省や山口県土木建築部、労働局職業安定部のイメージアップパネルも展示されました。

コンテストの内容は、軽量の木材であるバルサ材を使用してオリジナルの「橋」を製作し、デザイン・軽さ（経済性）・強さ、そしてプレゼンテーションを競い合うもの。今大会は公募により応募された中学生9校21名が、徳山商工高等学校生徒のサポートを受けながら「橋」の製作を行いました。

作品は左右非対称の個性的なデザインの橋から、軽量化を目指したシンプルな橋、タマネギの形を模した橋などさまざまで、時折ジョークも交えたプレゼンテーションに会場は盛り上がりました。

優勝に輝いたのは、周南市立富田中学校3年の栗光琳華さんの「スレンディングブリッジ」。受賞した栗光さんは「まさか自分がという気持ちです。実感はないですがとても嬉しい。高校は徳山商工に入って、ものづくりを学んでいければと思います」と話してくれました。

優勝した栗光琳華さん（右）

参加した中学生に話を伺うと「難しかったが、橋が出来上がった時の達成感は最高だった。次も絶対に出たい」とイキイキとした表情で感想を語ってくれました。サポートした高校生からは「事前に橋のことを勉強してきていたり、設計図を考えてきていたりと、やる気がみなぎる参加者が増えた気がして嬉しい」と後輩達の活躍に笑顔をみせていました。

大会会長を務められた徳山商工高等学校・河村　隆校長は「今回から会場が変わり、以前にも増して一般の皆さんに見て頂ける場所での開催になりましたが、いずれ社会に出て行く中高生にとって、とても良い刺激と緊張感の中コンテストができたのではないかと思います。ものをつくり磨くということは、人を磨いていくことにも繋がります。今回参加した皆さんが、これから先も、ものづくりを続けていってくれることを期待しています」と述べられました。

河村校長

また、実行委員長である徳山商工高等学校・松井幸司先生は「5回目となり、連続で参加してくれる中学生が増え嬉しい限りです。過去の参加者の中には徳山商工へ入学してくれた生徒もおり、参加者だった中学生が、高校生としてサポートする側になることもあると思うと楽しみですね！」と生徒達の充実した表情を誇らしげに眺めておられました。

松井先生

それぞれの思いが形となったブリッジ。ものづくりへの思いを磨いて、生徒達の輝く未来へ繋げてくれることを願っています。

参加された下関支部の皆さん（一番右：冨田実さん（田村建設㈱代表））

■「第13回 長府企業フェスタ」で建設業をPR！

10月3、4日の両日、下関市長府松小田東町のボートレース下関（下関競艇場）で開催された「第13回長府企業フェスタ」に、建設業協会下関支部（下関土木協会）が参加しました。

このイベントは、長府地区の企業が自社の製品や技術などをPRし、さまざまな催しで地域との親睦を深めるもので、平成27年度は計53団体が参加。会場内には個性豊かな企業ブースが並び、たくさんの来場者で賑わいました。

下関支部のブースでは7名が運営にあたり、ミニ重機でビー玉などをすくい上げ、当たりを狙う「重機で遊ぼう！」や、災害時における協会の活動を掲載した「災害対応パネルコーナー」を開設。「重機で遊ぼう！」コーナーは子供に大人気で、1日4回の開催時間には長蛇の列ができ、整理券を配布して対応する人気ぶりでした。

子供達は支部のメンバーからレクチャーを受けながら、重機のレバーを慎重に動かし、ショベルでビー玉をすくうと満面の笑みで景品をもらっていました。

指揮をとられていた下関支部の冨田　実さん（田村建設㈱代表）にお話を伺うと、「イベントへの参加も4回目となり、たくさんの方々に協会を知っていただく良い機会になっています。『去年楽しかったから』と次年度にまた来てくれるご家族もいらっしゃり、私達もより喜んでいただけるように試行錯誤しながら、毎年イベントを企画しています。常日頃は道路清掃や安全パトロール、また災害時の活動などで地域との絆を深めていますが、直接ふれあう機会は少ないので、イベント時には、集まって下さった皆さんに日頃の感謝を伝えています」とおっしゃっていました。

当日は長府企業フェスタ本部役員のため、支部イベントに参加できなかった中村高志下関支部長からも次のとおりコメントを頂きました。

中村高志下関支部長

「一般社団法人に移行する中で、地域における社会貢献活動事業として組み入れられて平成24年より長府企業フェスタに参加するようになり、はや4回目となりました。子供たちが土木建設工事の楽しさや、夢のある仕事として将来の担い手となるべく、一人でも多くの子供たちが心を傾けてくれれば幸いと思います。3日、4日の人手は、今までより3割増の1万1千人の方々に参加していただきました。責任者の田村建設㈱の冨田社長（理事）、佐々木事務局長、各社の担当者の皆様、本当にご苦労様でした」

下関支部では今後とも積極的にイベントへの参加を続けていきたいとのこと。イベントを通じて地域との繋がりが深まり、これからも地域社会に愛される建設業であることを期待します。

（一社）全国建設業協会では、平成27年に子供向けのPR用ハンドブックを新たに作成。イベントを行う全ての支部に配布し、活用していただきました。

長門支部「いきいきのびのびながとふるさとまつり」

岩国支部「岩国祭」

子供向けのPR用パンフレット（全建作成）

平成27年度の建設業PRイベント活動一覧

支部名	参加イベント	活動内容	実施日
下　関	第13回長府企業フェスタ	「重機で遊ぼう！」「道路豆知識クイズ」等	10月3日、4日
岩　国	第59回岩国祭	「けんせつきかい体験コーナー」	10月17日
長　門	第31回いきいきのびのびながとふるさとまつり	「防災・重機体験コーナー」	10月25日